

History 沿革

- 1999年8月 浜田クリニックの浜田晋先生の呼びかけにより、「地域メンタルケア研究会」の名称で、精神科の診療所の精神科医を中心とした「地域の精神科医療」「保健」「福祉」を研究するグループとして発足。
- 2000年4月 第2回公開シンポジウム「精神科におけるカルテ開示を考える」の開催に際して、会の名称を「地域メンタルケア協議会」と改める。
- 2001年7月2日 「特定非営利活動法人メンタルケア協議会」開設総会を行う。組織を特定非営利活動法人とすることで、活動をより組織的、継続的に行うことを決める。
- 2002年1月22日 特定非営利活動法人として2002年1月19日に認証を受け、同年1月22日に法人登記。「特定非営利活動法人メンタルケア協議会」としての事業運営を開始する。

board member 役員一覧

- 理事長** 羽藤 邦利
(代々木の森診療所理事長)
- 副理事長** 大下 隆司
(代々木の森診療所院長)
- 岩下 覚
(桜ヶ丘記念病院院長)
- 西村 由紀
(メンタルケア協議会事務局長)

- 特別顧問**
牛島 定信(元東京女子大学大学院文学研究科教授)
鹿島 晴雄(国際医療福祉大学教授)

- 顧問** 恵 智彦(イサオクリニック院長)
内田 晃雄(内田クリニック院長)
窪田 彰(錦糸町クボタクリニック院長)
花岡 秀人(花岡神経クリニック院長)

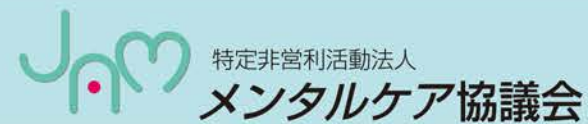
監事 田中 雅明(公認会計士)

- 理事**(50音順)
荒井 澄子(元南多摩保健所職員)
稲垣 中(青山学院大学教育人間科学部教授)
大神 那智子(メンタルケア協議会事務局)
川瀬 典夫(川瀬クリニック院長)
國吉 浄子(元多摩総合精神保健福祉センター職員)
越川 裕樹(石神井公園クリニック院長)
佐々木 一(あしたの風クリニック院長)
紫藤 昌彦(紫藤クリニック院長)
白石 弘巳(なでしこメンタルクリニック院長)
内藤 武(埼玉いのちの電話研修委員)
長瀬 輝詮(高月病院院長)
西村 隆夫(にしむらクリニック院長)
服部 万里子(服部メディカル研究所所長)
平川 淳一(平川病院院長)
平川 博之(ひらかわクリニック院長)
北條 彩(こころのクリニック三軒茶屋院長)
南 拓人(東京大学医学部附属病院 精神神経科)
森野 嘉郎(弁護士 東京パーソナル法律事務所)
山本 健一(東京都精神医学総合研究所名誉研究員)

私たちは、こころの支援に取り組むことを通して
だれもが生きやすい社会の実現を目指します。

特定非営利活動法人メンタルケア協議会は、
精神科医、精神科看護師、保健師、精神保健福祉士、心理士等の
専門職と、その活動を応援する人たちにより組織されました。

だれかがやらなくてはならないこと…
ひとつの精神科医療機関、各種相談機関、
教育機関や社会福祉施設だけでは行うのが難しいこと…
そうした事業に取り組んでいる非営利活動法人です。



特定非営利活動法人
メンタルケア協議会



名称 特定非営利法人メンタルケア協議会
理事長 羽藤 邦利
所在地 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-57-4 ドルミ第2代々木 2F
法人設立年月日 平成14年1月22日

●お問い合わせ
TEL 03-5333-6446 FAX 03-5333-6445 E-mail office@npo-jam.org
URL <http://www.npo-jam.org> <https://www.npo-jam.jp/saiyou/>



JAPANESE ASSOCIATION OF MENTAL HEALTH SERVICES

Mission

私たちのミッション 心の支援で信頼を置かれる専門家集団を目指します

支援を実践

生きづらさをやわらげ、生きやすくなっていただくために、専門的な力を活かします

#相談事業(電話・SNS・面談) #企業メンタルヘルス #データベース

連携促進

心の医療、生活支援や福祉、子育て支援や介護、法律や権利擁護などの専門機関と力を合わせ、支援の輪を作ります

#地域連携 #データベース #シンポジウム・講演会 #コンサルテーション

教育と研鑽

ここに寄り添い、一緒に考え、アセスメントに基づく支援ができる「支援の専門家」を育てます

#相談員向け研修会 #セミナー開催 #シンポジウム・講演会

やさしく力強い社会の実現

生きづらさを抱えた人びとを支援して、生きやすくなっていただくことでやさしく力強い社会の実現を目指します

#支援者向け研修 #ゲートキーパー研修 #情報発信(JAM通信・WEBサイト) #データベース

事業内容

メンタルケア協議会では主に4つの事業を展開しています

相談支援事業

研修事業

情報発信・提供

研究事業

主な相談支援事業

1

精神科救急医療事業

主に地域の一般の方が、救急隊、警察、病院などからの精神科救急医療の依頼を電話で受け、必要な情報を聴取して緊急性を判断し、トリアージ(振り分け)やケース・マネジメント(調整)を行っています。

東京都精神科救急医療情報センター

茨城県精神科救急医療情報センター

山梨県精神科救急医療情報センター

2

心の電話相談事業

一般の方がたから、心の健康や悩みなどについて電話で相談を受けています。

東京都夜間心の電話相談

川崎市心の電話相談

相模原市心のホットライン

港区夜間いのちの相談ダイヤル

3

自殺対策事業(電話・SNS)

生きづらさを感じている一般の方がたの生きることへの包括的な支援として、SNSや電話で相談を受けています。「自殺未遂者支援」では、救急医療機関や警察などが保護している自殺ハイリスク者への支援を行います。

東京都自殺相談ダイヤル
～「こころのいのちのほっとライン」～

東京都自殺未遂者対応連携支援
～東京都こころのいのちのサポートネット～

東京都 SNS自殺相談
～相談ほっと LINE@東京～

港区自殺未遂者支援
～港区いのちのサポート相談～

品川区自殺未遂者支援
～品川区いのちの寄り添いサポート～

千葉県自殺未遂者支援事業
～千葉県いのちのサポートネット～

4

男女共同参画支援事業

市区町村の男女共同参画センターにおけるさまざまな相談事業を受託しています。DVを含めた女性のための相談窓口だけではなく、男性相談やLGBTQ相談など、男女共同参画事業の中でより専門特化された相談も行っています。

杉並区男女平等推進センター相談

練馬区男女共同参画センター相談

国立市夜間休日女性相談電話

5

ひきこもり支援事業

ひきこもり状態にある対象者や家族の相談を受け、支援を行っています。川崎市内でひきこもり支援を行っている諸団体とネットワークを組んでいます。

川崎市ひきこもり地域支援センター

6

若者総合相談センター事業

「若ナビα」は、若者のさまざまな悩みに対応し社会的自立を後押ししています。必要に応じて、東京都内にある専門の窓口や支援機関をご案内しています。

東京都若者総合相談センター「若ナビ@」



相談支援事業

研修事業

研究事業

情報発信・提供

研修事業

研修会

- 自殺対策のための対応について、これまでの相談事業から得られた知識やスキルをお伝えする支援者向けの研修会や、一般の方向けのゲートキーパー研修などを実施します。
- 精神科救急相談窓口の相談員対応のスキルアップ研修を行います。
- 研修のための教材を作成しています。

シンポジウム・講演会

- 毎年1回、メンタルケアシンポジウムを開催しています。
- 子どものためのメンタルヘルス、精神科救急、GP連携、企業のメンタルヘルスなどさまざまなテーマのミニシンポジウムを年に1～2回開催しています。
- 支援にかかわっている方がたと情報共有、意見交換を行い、連携を推進します。

情報発信・提供

JAM通信・出版・WEBサイトによる情報発信、データベース提供

- 保健医療福祉の関係者にいっそう役立つものを提供するために、メンタルケア協議会のWEBサイトを運営しています。
- 官庁が公開しているデータを加工し、最新の保健医療福祉の動向をわかりやすく提供します。
- 会員向けの刊行物「JAM通信」を年に3～4回発行しています。
- その他、会員間で情報共有を図るため、メーリングリストを活用し迅速な情報共有を目指します。



研究事業

研究事業

独自に保健医療福祉の調査研究を行うとともに、厚生労働科学研究、東京都医師会などで行われる研究から委託を受けて調査などのお手伝いをしています。